

歴代会長

初代 中林 三次郎
 二代 中野 賢之助
 三代 上出 成之
 四代 大窪 利孝
 五代 真島 八郎

六代 中林 三次郎
 七代 幕内 稔
 八代 村越 光雄
 九代 松津 昶夫
 十代 土井 将雄

十一代 川上 良次
 十二代 岡本 利雄
 十三代 松井 徹

町会のあゆみ

- ◎昭和二十年三月の空襲後、町会づくりに立ち上がったが、連合司令部の勧告により禁止された。
- ◎昭和二十七年には、占領時代終結をもって町内組織が認められ早速わが町内の象徴でもある白玉稻荷神社社務所を事務所として「本町通り3丁目西町会」として活動が出来るようになった。
- ◎昭和二十九年には、再軍備が本格化する中、青少年の情操教育の一助にと有志の拠金により大小二座の御輿を建造し、今現在もその意思が連綿として伝えられている。
- ◎昭和三十六年には、世の中も活気を取り戻してきた頃、当町会にも老人福祉の一環として老人クラブを結成し、白玉稻荷神社を会場として現在も「寿親和会」として活動を続けている。
- ◎昭和三十八年には、水俣病の公害だったり、ケネディアメリカ大統領が暗殺されたり暗いニュースが報道される中、町会から新宿や都心に出かける交通手段としての地下鉄「丸の内線」が開通。
- ◎昭和四十一年には高度成長時代を迎えたさなか「子供と進む会」が結成され、その後の指導により若い女性たちの積極的な参加により「育成子ども会」は誕生し、続いて町会婦人部も創設し、町会運営に参加し、和やかな雰囲気を醸し出している。
- ◎昭和四十二年に、住居表示が変更され、町会名「本三西町会」に変更し活動する。
- ◎昭和四十五年に町内各位の浄財により白玉稻荷神社が改修され、荘厳で親しみのある御社殿が竣工された。
- ◎昭和五十年には、「本三西青年会」が組織され四十七名の会員が、町会の外郭団体ではあるが町内事業運営には欠かせない役割を担い現在に至ってもその役割を果たしている。
- ◎昭和三十五年 「本三西防災会」が組織され、今も町内の安全・安心に日毎努めている。
- ◎昭和五十二年頃からは隣接町会との連携・親睦を図る意味で祭礼には、応援に行き、また当町会祭礼にも応援を依頼し、お陰で現在も祭礼は支障なく運営渡御されている。
- ◎昭和五十九年には、中野氷川神社の崇敬団体「氷川氏子青年会」が立ち上がり入会する。元号も変わり、平成十七年には、町内の拠り所となっている社務所の改修も済み、室内空調も完備され各団体もよい環境で運営されております。
- ◎平成二十二年に、元仲町小学校跡に「すこやか福祉センター」が開所され、40年以上続けられた「盆踊り大会」も今現在も毎年行われて心の故郷となりつつあります。しかし、平成23年3月11日の「東日本大震災」には、わが町会の心の拠り所となっている白玉荷神社鳥居が半壊し、町内にも被害を受けたところもありましたが、町内有志から¥578,000もの義援金が集まり、こんなにも町会の絆を感じたことはありません。
- ◎以上当町会創立以来から最近までの歩みの一部を記述しましたが、他に書ききれない膨大な活動があります。これからも限りなく将来に向かって各団体の活動が続くことを信じております。

